牛久市歯科医師会発行

歯の健康新聞

第３０号
令和５年１１月０８日

「親子で食器シェアしたら虫歯菌がうつる？」定説に日本口腔衛生学会が示した〝驚きの新常識〟

口腔衛生学会によりますと、最近の研究で、生後四か月に母親の口腔細菌が子どもに伝播していることが確認されています。食器の共有は離乳食開始時期の生後五か月頃から始まりますが、それ以前から親から子どもに口腔細菌は感染しているのです。日々の親子のスキンシップを通して子どもは親の唾液に接触しますので、食器の共有を避けるなどの方法で口腔細菌の感染を防ぐことを気にしすぎる必要はありません。さらに、虫歯の原因菌は、ミュータンスレンサ球菌だけではなく、食器の共有に気を付けていても、子どものう蝕に差はなかったということです。う蝕は砂糖摂取やハミガキなど様々な要因で起こるため、食器の共有と子どものう蝕の関連を調べる際にはそうした要因を考慮する必要があります。う蝕に関連する複数の要因を調べた日本の研究では、三歳児において親との食器共有と、う蝕との関連性は認められていませんでした。親から子どもに口腔細菌が伝播したとしても、砂糖の摂取を控え、親が毎日仕上げみがきを行って歯垢を除去し、またフッ化物を利用することでう蝕を予防すると、食事習慣や歯磨きによって虫歯は予防できるとしました。特に、フッ化物を配合した歯磨き粉をつかうことは虫歯予防に効果的です。食器を別にすることを気にし過ぎず、しっかりと仕上げみがきと定期検診をすることが虫歯予防への近道ということのようです。（出典日本口腔衛生学会）

＊歯のクイズ＊

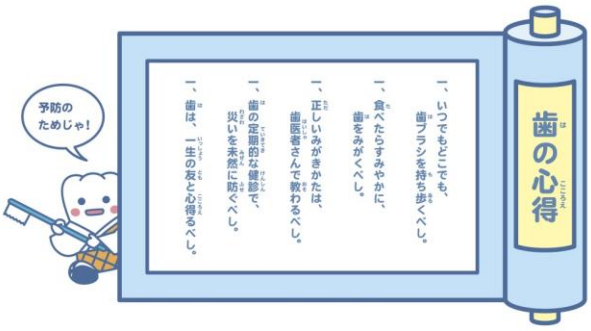
宇宙飛行士が宇宙で歯が痛く なった場合、どのように対処す るでしょうか？

A 歯をけずる
B 歯を抜く
C ガムをかむ

答え：
B 歯を抜く

宇宙空間では気圧の影響で虫 歯や歯周病があるとひどく痛む ことがあるそうです。
もし我慢できないほどの痛みに なってしまった場合は、他の宇 宙飛行士が歯を抜くそうです。
宇宙に行く前に歯を抜く訓練を していくんだって！

おどろきだね！



牛久市歯科医師会は1986年6月の牛久市市政施行と同時に当時の茎崎町と分離し発足しました。現在38歯科医療施設の管理者で構成されており、日々の歯科診療の他牛久市との委託契約により成人歯周疾患検診や学校検診、1歳半・3歳児検診をはじめとして牛久市民の皆様に様々な医療サービスを提供しています。